

2019 年度事業報告書

特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織[remo]

1. 事業期間

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

2. 事業の成果

2019年度は、AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ] を中心に、映像ワークショップ、Alternative Media Gathering の3本の事業を実施した。AHA! では、2015年より8mmフィルムの収集・東京都世田谷区で展開しているプロジェクト「穴アーカイブ」も5年目に入り、せたがやアカバの会の定例会とその集大成となる展覧会「世田谷クロニクル1936-83」を開催したが、会期中で新型コロナウイルスの影響を受け開催中止となった。この流れを踏襲し、新たなアプローチとして、アーツカウンシル東京及び生活工房との共催事業としてこれまで世田谷で8mmフィルムを活用した「移動する中心 | GAYA」が始動した。映像を介した語りの場を創出、そのオーラル・ヒストリーをアーカイブする試みである。今年度は映像の再生をきっかけに紡がれた個々の語りを拾い上げ、プロジェクトを共に動かす担い手を育成するワークショップシリーズを開催した。

さらに、新たに慰問文再々発行プロジェクト「なぞるとずれる」プロジェクトを発足。昭和14年、日中戦争の際に中国に出征中の父や兄を励ますために岐阜県加茂郡伊深村（現：岐阜県美濃加茂市）のこどもたちが書いた手紙は、40年後の昭和54年に慰問文集として再発行された。その40年後の令和元年に取材をスタートし、次年度慰問文集の再々発行を目指す。映像ワークショップでは、地球温暖化対策の取り組みとして大阪府豊中市で宣言された国民運動「COOL CHOICE」、取り組みの推進を目的として、大学、企業との協働で映像制作ワークショップを実施し、完成作品はYouTubeにアップロードされた。企画、計画、撮影までを約3時間で行う映画制作ワークショップメソッド、ご近所映画クラブを各企画に沿ってカスタマイズしながら京都・神戸で開催された。

Alternative Media Gatheringでは、オペライズモに造詣が深く、現代政治理論や移民の研究を行なっているサンドロ・メッザードラ氏を招き、公開研究会を開催した。

今年度の成果として、昨年度 8mm フィルムのアーカイブウェブサイト「世田谷クロニクル」を足がかりとして映像アーカイブの新たな活用方法として映像から想起する記憶・語りなど=映像に映っていないもののアーカイブ化を進める事業が開始されたことは、収集・保存・公開・活用を推進してきた AHA! として意義深いものとなった。2016 年に開始した鳥

取県でのすみおれアーカイブスでも同様の活動が進行している。穴アーカイブやすみおれアーカイブスの取り組みをモデルケースとして、各地での地域資源としての観点からも認知・活用の提案をしていきたい。長期的な課題である予算の確保について、今回資金調達の方法として初のクラウドファンディングを実施し、目標額を達成した。引き続きの課題として、当法人ウェブサイトの再構築、及び予算の確保となるが、さらに新型コロナウイルスの影響による展覧会の開催中止、慰問文再々発行プロジェクトの取材の遅延が発生、当法人の事業の特性上、コロナ禍でのプレゼンテーション、コミュニケーションの方法、プロジェクトの進め方が課題である。

3. 事業の実施状況

<特定非営利活動に関する事業>

(1) メディア表現の発表、鑑賞機会の企画運営事業

[事業の対象者] 不特定一般

①AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]

①- 1

「穴アーカイブ：an-archive 世田谷の8ミリフィルムにさぐる」

[実施内容]昭和30～50年代の世田谷の風景が記録された8ミリフィルムをこれからの暮らしの共有財と捉え、収集・公開・保存・活用していく映像アーカイブプロジェクトに、企画制作として関わった。

* 「せたがやアカバブの会」 (定例会)

[実施内容] かつての世田谷を記録した「8ミリフィルム」を手がかりに、いま・ここにいる私たちと映像との関係を結びなおす試み。時間をかけてじっくりと観ながら、紡ぎ出された記憶や想像の断片をじっくりと語り合う定例会を実施。

[日時] 2019年8月14日(水) 2019年9月11日(水) 2019年11月6日(水)

2020年1月8日(水)

*2020年3月21日(土)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

[実施場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房ワークショップA

[参加者数] のべ48名

* 展覧会「世田谷クロニクル 1936-83」

〔実施内容〕 事業の成果を展覧会という形式で発表した。具体的には、デジタル化した映像 84 巻の映像（約 16 時間）、提供者の語りが録音された音声、および、提供者が所有するモノ、といった 3 要素で会場を構成した。

〔日時〕 2020 年 3 月 14 日（土）～2020 年 4 月 5 日（日）

※3 月 30 日以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔実施場所〕 世田谷文化生活情報センター生活工房 / ワークショップ A(4F) / ワークショップ B(4F) / 生活工房ギャラリー(3F)

〔参加者数〕 1337 名

①-2 「移動する中心 | GAYA」

〔実施内容〕 昭和の世田谷をうつした 8 ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。世田谷区内の多様な組織や個人と連携し、映像資料をアウトプットする場であり、映像から引き出された個々の語りをインプットする場について検討を重ねた。また、映像の再生をきっかけに語られる個々の声を拾い上げるための人材育成プログラムを実施した。

〔参加者数〕 のべ 67 名

* ワークショップ

・ 1 回目 顔合わせ

メンバー同士による、はじめて顔を合わせ。企画趣旨をより深く共有した。

2019 年 12 月 22 日（日） 13:00～16:30 世田谷ものづくり学校 Meeting Room (105)

・ 2 回目 語り手を探す

ゲストスピーカー（佐藤史治氏）をむかえ、語り手の探し方を考えた。

2020 年 1 月 13 日（月・祝） 13:00～16:30 生活工房 5 階セミナールーム B

・ 3 回目 語りを聴く

ゲストスピーカー（山本唯人氏）をむかえ、語りの聴き方を考えた。

2020 年 2 月 23 日（日） 13:00～16:30 生活工房 4 階ワークショップルーム A

・ 4 回目 語りをまとめる

これまでの回を振り返りつつ、語りのまとめ方を考えた。

2020 年 3 月 1 日（日） 13:00～16:30 生活工房 4 階ワークショップルーム A

①-3 戦時中の子どもたちが書いた"平和への願い"を再びなぞる。『慰問文集』再々発行プロジェクト。

【実施内容】戦地の兵士を励ますために書かれた「慰問文」の再々発行をめざして、岐阜県美濃加茂市伊深町において関係者への取材、および、文献調査、複写作業を行った。80年前、40年前に綴られた『慰問文集』をとおして、戦場の父や兄に、子どもたちはどんな言葉を送ったのかを探った。なお、クラウドファンディングを実施し、205名にご参加いただいた。クラウドファンディング中はトークイベントを行った。

*連続トーク「なぞるとずれる」

vol.01 新井勝紘 | 戦場からの便りを読む

[話し手] 新井勝紘 (元専修大学教授)

[日時] 2019年8月2日(金) 19:00~21:00 (18:30開場)

[実施場所] loftwork COOOP10

[参加者数] 21名

vol.02 尾中俊介 | レイヤーとレイアウト

[話し手] 尾中俊介 (グラフィックデザイナー、詩人)

[日時] 2019年8月29日(木) 19:00~21:00 (18:45開場)

[実施場所] NADiff a/p/a/r/t

[参加者数] 18名

vol.03 伊藤亜紗 | なぞる体、ずれる体

[話し手] 伊藤亜紗 (東京工業大学准教授)

[日時] 2019年9月28日(土) 19:00~21:00 (18:30開場)

[実施場所] 本屋 B&B

[参加者数] 55名

*慰問文は語る——子どもたちが綴った、戦争と平和『慰問文集』再々発行プロジェクト・中間報告会

[聞き手] 今尾真也 (リトルクリエイティブセンター)

[日時] 2019年10月27日(日) 19:00~20:30

[実施場所] 岐阜ホール

[参加者数] 5名

* 『慰問文集』 再々発行プロジェクト・中間報告会対談：誰かの記録をなぞることことば
と写真をめぐって

[日時] 2019年11月25日 [月] 19:00-20:30

[実施場所] TOKYO LITTLE HOUSE

[話し手] 松本篤 (NPO 法人 remo メンバー／AHA!世話人)

佐藤洋一 (早稲田大学社会科学学術院教授)

[参加者数] 13名

①-4 声をそえるー8ミリフィルムと5人の鑑賞者、その語り<川端編>

[実施内容] 地域の記憶と記録にまつわるプロジェクト「すみおれアーカイヴス」では、昭和30年代から50年代にかけて、家庭用のホームムービーとして普及していた「8ミリフィルム」に焦点を当て、その収集・保存・活用を行ってきた。今回の企画展示では、無音の8ミリフィルムの映像に鑑賞者の語りを合わせー「声をそえる」ーことで、「記憶の風景」を描くことを試みた。また、鳥取県立図書館の協力の下、年表や地図、書籍等の資料をあわせて展示し、パブリックな記録とプライベートな記憶が交錯することによって見えてくる街の有り様を探った。※ホスピテイルプロジェクトとの共働

* 企画展示

[日時] 2019年10月19日(土)～11月4日(月・祝)

【土・日・月】 9:00～17:00 【火～金】 9:00～19:00

※10/31(木)は休館 ※11/1(金)のみ、冬季時間のため18:30まで。

[実施場所] 鳥取県立図書館 二階 特別資料展示室

[参加者数] 1333名

* ギャラリーツアー

[日時] 2019年10月19日(土) 13:00～14:00

[参加者数] 23名

* トークイベント「私<わたくし>の声をきく」

[日時] 2019年11月2日(土) 10:30～12:00

[会場] 鳥取県立図書館 大研修室

[ゲスト] 三田祐子 (司書・鳥取県立図書館郷土資料課)

[参加者数] 31 名

②Alternative Media Gathering_ 移民/階級/都市 現代都市空間の分断と境界をまたぐ労働力移動

[実施内容] 戦後イタリアで「労働の拒否」を階級闘争の根拠としたオペライズモの概念装置を武器として、いま英語圏での展開とともに移民たちの「逃走する権利」を訴えてきた理論家サンドロ・メッザードラ。ここでは戦時下、木津川沿いに集積した造船をはじめとする軍需産業にはじまり、万博、ニュータウンの建造、関空工事等のメガプロジェクトのたび、大量の労働力人口を吸引しては不況にあえいだ戦後大阪から、現下あらたな移民労働者たちとあゆむ未来を考えた。

日時：2019年6月16日(日) 15:00-18:00

会場：remo / コーポ北加賀屋 (大阪市住之江区北加賀屋 5-4-12)

参加：無料

ゲスト：サンドロ・メッザードラ

参加者数：50名強

(2) ワークショップ事業

[事業の対象者] 不特定一般

①ご近所映画クラブ

① -1 東九条こどもご近所映画祭

[実施内容] HAPS (Higashiyama Artists Placement Service) 主催の企画に協力。京都東九条にある児童館「希望の家」のこどもたちを対象とした映画づくりワークショップと上映会をセットにしたメディア・ワークショップ。グループになってあらすじからシナリオ作成、撮影までを3時間少々で実施。俳優やカメラマンなど、映画づくりのプロの方々にアドバイスをもらいながら、集まったみんなで話し合っって映画を制作、そしてできあがった映画は劇場「THEATRE E9 KYOTO」で上映会を行った。

[日時・場所]

1. 映画をつくる

2019年8月5日(月)10:00~14:00

撮影場所：京都市地域・多文化交流ネットワークセンター／THEATRE E9 KYOTO

2. 宣伝する

8月17日(土) 東九条夏まつり 17:00~20:00

会場：京都市地域・多文化交流ネットワークセンター

3. 上映会をひらく

8月23日(金) 開演 14:30／終演 15:30

会場：THEATRE E9 KYOTO

[参加者数] 80名

①-2 KOBE CINEMA PORT フェス 2019

～「映画」ってなんだろう？～3時間で映画をつくる！「ご近所映画クラブ」

[実施内容] 「ご近所映画クラブ」のワークショップメソッドにしたがって、参加者が「企画」し「計画をたて」「撮影をする」の3段階を相談しながら3時間で映画を作成。参加者がグループで話し合い、シナリオ作成から映像撮影まですべて行ってオリジナルの映画をつくった。そして、最後は自分たちでつくった映画をKAVCシアターで上映した。

[日時] 2019年9月29日(日) 13:00~17:00

[会場] 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 会議室1、KAVCシアター、その他 神戸アートビレッジセンター全館

[参加者数] 10名

②豊中市クールチョイス

[実施内容] 豊中市が、第2次豊中市地球温暖化防止地域計画に基づき推進するプロジェクト「TOYONAKA COOL CHOICE」。この活動を広く告知するために、大阪大学公認環境サークル GECS および富士ゼロックスと協働し、映像制作ワークショップを通して、温暖化をテーマとした映像作品を作成。完成した作品は、豊中市のYouTubeチャンネル「とよなか環境TV」にアップロードされ閲覧可能。

[日時・場所]

1. 映像制作講座

2019年8月2日(金)12:00~16:00、9月13日(金) 12:00~15:00、10月11日(金) 12:00~15:00

場所：大阪大学豊中キャンパス

[参加者数] 15名

2. こども向け映像ワークショップ

2019年10月27日(日) 10:00～13:00

会場：こども環境交流センター

[参加者数] 8名

3. 上映会

2019年11月16日(土) 10:00～12:00

会場：豊中市環境展（豊中市立豊島体育館）

[参加者数] 30名

(3) 情報収集、研究及び発信事業

[実施内容] 2019年度実績として任意団体、大学法人等からサーバ管理等を受託。

[事業の対象者] 不特定多数

(4) 活動支援事業

[実施内容] 当法人のメディアに関するノウハウを駆使し、様々なプログラムに企画協力・記録映像制作、教材用DVD、機材提供など制作支援を行った。

[事業の対象者] 不特定多数

4. 社員総会の開催状況

第18回通常総会

開催日時：2019年5月24日 19:30～20:00

開催場所：NPO 法人記録と表現とメディアのための組織

出席者数：正会員13名中10名（うち4名委任状）、欠席3名

議事内容：

2018年度事業報告および決算報告について

2019年度事業計画および活動予算について

役員の任期満了に伴う選任について

5. 理事会の開催状況（場所はNPO法人記録と表現とメディアのための組織）

開催日時：2019年7月1日 11:00～11:30

議事内容：代表権を有する理事（代表理事）の選任について

2019年度事業計画の遂行について

以上